

# 平成21年12月期 第2四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社  
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 秋山 真咲  
 (氏名) 豊田 浩文

TEL 03-6714-2800

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年12月期第2四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	2,043	—	285	—	285	—	182	—
20年12月期第2四半期	1,984	△16.1	△238	—	△245	—	△713	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	625.38	—
20年12月期第2四半期	△2,438.58	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	2,260	859	30.6	2,367.68
20年12月期	2,194	601	21.5	1,612.98

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 692百万円 20年12月期 471百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	—	—	—	0.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期 (予想)	—	—	—	—	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	△7.3	275	—	270	—	90	—	307.63

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
 新規 一社 (社名 ) 除外 1社 (社名 軟脳軟件(北京)有限公司 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第2四半期	309,550株	20年12月期	309,550株
② 期末自己株式数	21年12月期第2四半期	17,000株	20年12月期	17,000株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第2四半期	292,550株	20年12月期第2四半期	292,550株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、上記業績予想に関する事項は3ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整が進み、新興工業国の経済成長の助けもあって、一部で生産の立ち上がりが見られるものの、依然として雇用情勢は厳しく、内需の盛り上がりにも欠け、見通しは不透明なままであります。このような経済状況下において、企業は生き残りをかけた新商品の開発と営業力の強化、経営資源の集中による効率化、成熟化社会への適合など、来るべき社会を見据えた経営戦略の転換を迫られております。

そのような中、「業績改善」「コスト削減」「セキュリティ」等への投資意欲は増大する傾向も見られ、「ホワイトカラーの業務効率改善サービス」を提供する当社グループは、そのような社会のニーズにいち早く応えるべく、SFA/CRMパッケージソフトである「eセールスマネージャー」の機能強化、業務効率化としてのアウトソーシングを支援するBPO事業の強化などに努めてまいりました。

その結果、「eセールスマネージャー」のライセンス販売とそれにとまなう開発販売が堅調に推移したこと、フィールド・店頭調査などのBPO事業についても対前年比20%以上の高い伸びを示すなどしたこと、第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.0%増の2,043百万円となりました。また、昨年秋より取り組んでまいりました固定費の削減や経費支出の抑制などの効果が寄与し、売上高原価率及び売上高販管費率がそれぞれ前年同期比14.4ポイント、11.6ポイント改善し、営業利益285百万円（前年同期は238百万円の損失）、経常利益285百万円（前年同期は245百万円の損失）となりました。四半期純利益につきましては連結子会社の持分譲渡にとまなう損失91百万円の計上などにより182百万円（前年同期は713百万円の損失）となりました。

なお、前年同期比は適用される会計基準が異なるため、参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、2,260百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加81百万円、有形固定資産の減少26百万円、投資有価証券の減少19百万円などです。負債は前連結会計年度末に比べ192百万円減少し、1,400百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の減少189百万円です。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ258百万円増加し、859百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加208百万円です。自己資本比率は、30.6%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ81百万円増加し、1,117百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減とその要因は次のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は372百万円でした。これは主に税金等調整前四半期純利益215百万円、減価償却費93百万円、関係会社出資金売却損91百万円の増加要因と在庫調整勘定戻入益36百万円の減少要因によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の大幅な増減はございませんでした。これは主に投資有価証券の売却による収入44百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入27百万円、無形固定資産の取得による支出68百万円の結果によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出された資金は190百万円でした。これは主に短期借入金の返済によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績および今後の受注動向等を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、平成21年4月30日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成21年12月期の通期業績予想を修正しております。詳細は、平成21年7月28日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（主要な関係会社の異動）

連結除外：軟脳軟件（北京）有限公司

当社は、平成21年4月9日付で、前期末において当社の連結子会社であった軟脳軟件（北京）有限公司の全ての出資持分を譲渡いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の変更に伴う変更

- ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ・通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、原価法（貸借対照表額については、収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。また、この適用に伴い、在庫調整勘定につきましては、従来法人税法に基づいて該当する決算日前6ヶ月の販売実績を基準として計上してまいりましたが、合理的に製品の販売実績を基準に計上することが、より実態を財政状態及び経営成績に対して正確に反映するものと判断致しました。その結果、評価損は直接貸借対照表上製品から控除して表示しております。  
この変更に伴い、在庫調整勘定を戻入れたため、特別利益として在庫調整勘定戻入益36百万円を計上し、税金等調整前四半期純利益を36百万円増加する結果となっております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,117,419	1,035,786
受取手形及び売掛金	463,442	456,958
商品	1,500	—
製品	33,123	5,546
仕掛品	38,523	27,528
貯蔵品	1,190	1,400
繰延税金資産	2,277	2,281
その他	73,257	99,393
貸倒引当金	△6,878	△5,527
流動資産合計	1,723,855	1,623,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,920	52,920
減価償却累計額	△25,252	△22,271
建物及び構築物(純額)	27,668	30,649
その他	305,317	333,629
減価償却累計額	△243,936	△248,994
その他(純額)	61,381	84,635
有形固定資産合計	89,049	115,284
無形固定資産		
ソフトウェア	199,338	184,091
のれん	6,229	7,895
その他	915	915
無形固定資産合計	206,483	192,902
投資その他の資産		
投資有価証券	65,836	85,283
差入保証金	162,138	164,333
破産更生債権等	211,513	204,747
その他	13,074	13,634
貸倒引当金	△211,513	△204,747
投資その他の資産合計	241,049	263,251
固定資産合計	536,581	571,439
資産合計	2,260,437	2,194,807

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	126,968	132,577
短期借入金	848,436	1,037,986
未払法人税等	13,025	26,086
繰延税金負債	2,336	5,756
前受金	216,781	164,363
賞与引当金	2,109	—
返品調整引当金	178	178
その他	176,303	207,677
流動負債合計	1,386,139	1,574,625
固定負債		
繰延税金負債	14,829	18,765
固定負債合計	14,829	18,765
負債合計	1,400,969	1,593,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	△481,180	△689,573
自己株式	△263,285	△263,285
株主資本合計	698,333	489,939
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△825
為替換算調整勘定	△5,667	△17,235
評価・換算差額等合計	△5,667	△18,061
少数株主持分	166,802	129,537
純資産合計	859,468	601,415
負債純資産合計	2,260,437	2,194,807

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	2,043,491
売上原価	943,919
売上総利益	1,099,571
販売費及び一般管理費	814,158
営業利益	285,413
営業外収益	
受取利息	896
持分法による投資利益	6,788
違約金収入	4,126
その他	4,344
営業外収益合計	16,155
営業外費用	
支払利息	12,351
為替差損	2,153
その他	1,213
営業外費用合計	15,718
経常利益	285,850
特別利益	
投資有価証券売却益	18,291
在庫調整勘定戻入益	36,254
特別利益合計	54,545
特別損失	
前期損益修正損	15,829
関係会社出資金売却損	91,171
貸倒引当金繰入額	6,695
たな卸資産廃棄損	11,163
特別損失合計	124,860
税金等調整前四半期純利益	215,536
法人税、住民税及び事業税	3,761
法人税等調整額	△7,919
法人税等合計	△4,158
少数株主利益	36,739
四半期純利益	182,954

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
売上高	944,585
売上原価	447,964
売上総利益	496,620
販売費及び一般管理費	378,716
営業利益	117,904
営業外収益	
受取利息	5
持分法による投資利益	6,750
為替差益	642
違約金収入	346
その他	3,554
営業外収益合計	11,300
営業外費用	
支払利息	6,054
その他	0
営業外費用合計	6,054
経常利益	123,149
特別利益	
投資有価証券売却益	12,600
特別利益合計	12,600
特別損失	
前期損益修正損	2,283
関係会社出資金売却損	91,171
貸倒引当金繰入額	2,214
たな卸資産廃棄損	11,163
特別損失合計	106,832
税金等調整前四半期純利益	28,916
法人税、住民税及び事業税	2,016
法人税等調整額	7,937
法人税等合計	9,953
少数株主利益	28,153
四半期純利益	△9,189

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	215,536
減価償却費	93,820
のれん償却額	1,666
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,117
長期前払費用償却額	923
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,776
受取利息及び受取配当金	△896
支払利息	12,351
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,291
関係会社出資金売却損益(△は益)	91,171
持分法による投資損益(△は益)	△6,788
たな卸資産廃棄損	11,163
在庫調整勘定戻入益	△36,254
前期損益修正損益(△は益)	15,829
売上債権の増減額(△は増加)	△25,595
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,111
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,527
その他	68,780
小計	399,119
利息及び配当金の受取額	896
利息の支払額	△14,290
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,629
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,034
無形固定資産の取得による支出	△68,473
投資有価証券の売却による収入	44,458
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	27,000
差入保証金の差入による支出	△1,876
差入保証金の回収による収入	843
投資活動によるキャッシュ・フロー	918
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△190,000
配当金の支払額	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,618
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	194,160
現金及び現金同等物の期首残高	1,035,786
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△112,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,117,419

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当連結グループはインターネットを用いた法人向のソリューションである、コンサルティングとシステム構築、パッケージソフトウェアの開発・販売等を事業の内容としており、情報サービス単一セグメントのため事業の種類別セグメント情報を記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の省略しております。

[海外売上高]

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		1,984,138 100.0
II 売上原価		1,201,532 60.6
売上総利益		782,605 39.4
III 販売費及び一般管理費		1,020,669 51.4
営業利益		△238,064 △12.0
IV 営業外収益		
1. 受取利息及び受取配当金	2,754	
2. 役員報酬返還益	9,959	
3. 補助金収入	3,330	
4. 業務受託手数料	5,890	
5. その他	6,631	28,565 1.4
V 営業外費用		
1. 支払利息	5,495	
2. 持分法による投資損失	27,409	
3. その他	2,810	35,715 1.8
経常利益		△245,213 △12.4
VI 特別利益		
1. 投資有価証券売却益	23,400	23,400 1.2
VII 特別損失		
1. 固定資産除却損	5,424	
2. 投資有価証券評価損	86,313	
3. 減損損失	21,495	
4. 貸倒引当金繰入額	105,800	219,033 11.0
税金等調整前中間純利益		△440,847 △22.2
法人税、住民税及び事業税	25,424	
法人税等調整額	265,327	290,751 14.7
少数株主利益		18,191 0.9
中間純利益		△713,406 △36.0

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純損失	△440,847
減価償却費	122,896
長期前払費用償却額	1,603
のれん償却額	2,880
貸倒引当金の増減額 (△減少額)	105,823
返品調整引当金の増減額 (△減少額)	△837
受取利息及び受取配当金	△2,754
支払利息	5,495
持分法による投資損失	27,409
減損損失	21,495
固定資産除却損	5,424
投資有価証券売却益	△23,400
投資有価証券評価損	86,313
売上債権の増減額 (△増加額)	182,762
たな卸資産の増減額 (△増加額)	15,913
仕入債務の増減額 (△減少額)	△34,682
その他の増減額 (△減少額)	△54,988
小計	20,508
利息及び配当金の受取額	6,250
利息の支払額	△4,978
法人税等の還付額	50,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,971
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△27,904
無形固定資産の取得による支出	△62,122
投資有価証券の売却による収入	165,400
差入保証金の返戻による収入	1,927
差入保証金の差入による支出	△12,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	64,865

	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△減少額)	550,000
長期借入金の返済による 支出	△18,100
配当金の支払額	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	531,842
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1,016
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加 額	667,662
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首 残高	661,729
Ⅶ 現金及び現金同等物の中間 期末残高	1,329,392